

## ◇◇◇ ブナとブナ林 ◇◇◇

### ブナの仲間

ブナはブナ科・ブナ属に属する落葉高木です。ブナ科にはブナ属の他にコナラ属・クリ属・シノキ属など8属があって、世界の温帯から亜熱帯にかけて約600種が分布しています。

ブナ属には約10種あり、北半球の温帯に分布しています。ヨーロッパにはヨーロッパブナ、北アメリカにはアメリカブナ、小アジアからイランにはオリエントブナ、中国には中国ブナが分布しています。日本にはブナとイヌブナが分布しています。

### ブナ村のしくみ

日本の温帯林を代表するブナ林は、ヨーロッパや北米東部のブナ・ナラ林とたいへん似ています。しかし、林床にササ類が多いこと、カエデの仲間が種類も個体数も多いことではちがっており、日本特有の森林構造をつくっています。

ブナ林では、ブナ以外にも多くの植物が分布しており、高木・低木・草本などが階層構造をつくっています。それを構成している植物は地方により、また地域により少しずつちがっています。特に、冬の季節風の影響で多雪地帯となる日本海側と、その影響をあまり受けない太平洋側とはちがいがみられます。なかでもササ類にあきらかな分布のちがいがあります。多雪地に適応したチシマザサの多い日本海側のブナ林をチシマザサ〜ブナ群落、スズタケの多い太平洋側のブナ林をスズタケ〜ブナ群落と呼んでいます。ササ類以外にも特に低木層にいくつかのちがいがみられます。

### 日本のブナ林

日本では北海道の黒松内、長万部付近を北限として、本州・四国・九州に広く分布しています。本州北部や北海道では低山や平地にも林をつくりますが、南に行くにしたがって分布の海拔高は高くなります。南限のブナ林としては、鹿児島県の高隈山(1237m)の山頂のものが知られています。

## 山形県のブナ林(1)

庄内地方や、県北の最上川横谷地帯、最上盆地、県南西部の西置賜地方などでは、海拔100m以下の低地や、海岸近くの丘陵の風陰斜面の一部などにまで、ブナの残存林分が点々とみられます。一方村山、置賜地方には、平地の残存林はほとんどないが、海拔ほぼ200〜300m以高にかなりみられます。

このように見てくると、本県の低地は少なくとも上記の庄内海岸地方の一部を除けば、気候的極相としてはブナ林の成立できる、ブナ林地帯に属すると考えていいようです。このブナ林は、典型的な形としては林床にチシマザサが多く、またユキツバキ、ヒメアオキ、ヒメモチ、ハイイヌガヤなどの常緑低木に富む、いわゆる日本海型のブナ林(チシマザサ〜ブナ群落)です。

## 山形県のブナ林(2)

山形県のブナ林の群落型は、広義のチシマザサ〜ブナ群集(群団)に属するものですが、広い分布域をもっているので環境的にもちがったかなり多くの類型を含んでいます。

- (1) 庄内海岸の丘陵地帯の残存林にはヤダケ・キッコウハグマを林床にもつブナ林がみられます。(鶴岡市三瀬気比神社社叢のブナ林)
- (2) 出羽山地や庄内を中心として、低山には林床にユキツバキをもつブナ林がみられます。(最上郡戸沢村高屋)
- (3) 山地帯のブナ林は、林床にチシマザサが優占しています。(西川町 月山志津口登山道)
- (4) 飯豊山地域では、ササの少ないブナ林がみられます。(小国町 飯豊山温身平)
- (5) 飯豊・朝日・鳥海・月山など、亜高山帯に針葉樹林帯を欠く山地ではブナの上部が森林限界となり、多数に分枝する低木型のブナ林になります。

## 参考文献

- 白山の自然誌2 (1981)  
天然記念物緊急調査 山形県 (1971)  
植物の分布と分化 (昭49)

# 山形のおしば展

## —ブナ林の植物から—

会期 昭和57年12月14日(火)  
昭和58年2月13日(日)

会場 山形県立博物館  
(山形市霞城町1-8)  
TEL 45-1111)

## 開催にあたって

本展は、県内の植物同好者からご出品いただいた「おしば標本」をもとにして開催いたしております。県内各地から寄せられた「おしば標本」には県内の植物分布地図を大幅に書きかえなければならない新発見や地域的に貴重な「標本」が数多く含まれており、学術的にもきわめて価値の高い催しであります。

出品者のように、身近にある自然を地道に探求することは、山形の自然史研究を質的に向上発展させるうえで、大きな役割を果たすものと信じます。ご出品の方がたに厚くお礼を申し上げますとともに、これからも、斯道発展のために、ますますご精進くださるようお願いいたします。

本館からは「ブナとブナ林」をテーマに、その構造や特質などを、収蔵資料を用いて解説・展示いたします。

この機会に、ぜひ、ご観覧ください。山形の植物相の多様さなどをご理解いただければ幸いです。

山形県立博物館長

◇◇◇ 出品目録 ◇◇◇

石山美恵子	山形市城北町 1-1-6	
ヒレアザミ	山形市西蔵王放牧場	
オニルリソウ	〃	
チチコグザモドキ	山形市城北町	(分布稀)
ノラニンジン	〃	
オオハシカグサ	西川町大井沢	
小形 利吉	山形市東原町 2 丁目 2 2-7	
ヤブツルアズキ	山形市小立 3 丁目	
イヌムギ	〃	
ハマヒルガオ	〃	
アキノノゲシ	〃	
ビロードモウズイカ	山形市銅町馬見ヶ崎川原	
キクイモ	〃	
カラメドハギ	〃	
ミズカヤツリ	山形市桧町	
アズキ	山形市菅沢・長谷堂間農道	
オオキンケイギク	山形市鳥居ヶ丘(栽培)	
ワルナスビ	山形市西蔵王高原	(分布稀)
スズメノヒユ	山形市内表	
オオツルイタドリ	山形市山寺馬形	
カナムグラ	〃	
オニルリソウ	〃	
ムラサキエノコロ	〃	
ノラニンジン	〃	
オオアワガエリ	〃	
大高 滋	尾花沢市大字尾花沢 3 6 4 5	
ニガクサ	尾花沢市郊外	
アケボノシュスラン	〃	
シロバナウツボグサ	尾花沢市上柳	
ハイドジョウツナギ	尾花沢市芦沢 水田内	(分布稀)
セイヨウヒルガオ	尾花沢市芦沢	
ケハギ	尾花沢市隼気川原	
タイワンヤマイ	尾花沢市丹生川原	
ウシクダ	〃	
ヒナガヤツリ	〃	
ヒメシラスゲ	尾花沢市翁峠	
ニッコウハリスゲ	〃	
シラコスゲ	〃	(分布稀)
オオカワズスゲ	〃	

加藤 信英	東田川郡藤島町古郡水押 1 0	
アズマレイジンソウ	温海町五十川	(分布稀)
フモトシダ	遊佐町吹浦	(新採集)
オニヒカゲワラビ	〃	(分布稀)
ツヤナシノデ	遊佐町箕輪	(分布稀)
オオベニシダ	〃	(分布稀)
イノデモドキ	遊佐町落伏	(新採集)
ヒロハイヌワラビ	〃	(分布稀)
ハコネオオクジャク	〃	(新採集)
コヒロハハナヤスリ	〃	(新採集)
ヒメカワズスゲ	朝日村	(分布稀)
菅藤貞次郎	尾花沢市上柳渡戸 6 5 6	
サルトリイバラ	尾花沢市延沢城山	
ツノハシバミ	〃	
クマノミズキ	〃	
ヒロハテンナンショウ	〃	
ルイヨウボタン	〃	
アズキナン	〃	
ウリハダカエデ	〃	
ミズナラ	〃	
ホウチャクソウ	〃	
カキラン	〃	
ビロードスゲ	〃	
ラショウモンスカズラ	〃	
カワラスゲ	〃	
ミヤマカンスゲ	〃	
ウスバサイシン	〃	
ミヤマナルコユリ	〃	
ヒロバスゲ	〃	
ハルニレ	尾花沢市粟生	
ケンボナンシ	尾花沢市尾花沢	
ミズキ	〃	
ヌマハリイ	尾花沢市母袋若畑沼	(分布稀)
オオカサスゲ	〃	
ヤマソテツ	〃	
サカゲイノデ	尾花沢市銀山	
ヘビノネコザ	〃	
オオバショリマ	〃	
ミヤマイタチシダ	大石田町黒滝	
エゾユズリハ	〃	

斎藤 清	上山市高野 7 2	
ハチジョウナ	上山市高野字大平	(新採集)
マツカゼソウ	〃 胡桃子沢	(分布稀)
ホソバトウゲシバ	〃	
クログワイ	〃 御座田	
ウラジロノキ	上山市甲石字廻立山	
佐川 昇	山形市東原町 3-8-1 3	
シラネワラビ	真室川町甑山	
オンシャクジデンダ	真室川町有沢山	
シノブ	〃	(分布稀)
ヒメノキンノブ	〃	(分布稀)
ミヤマワラビ	寒河江市熊野川上流	
ミヤマメシダ	〃	
ミヤマシシガシラ	〃	
オオバショリマ	〃	
シロウマイノデ	〃	
アズミイノデ	西川町湯殿山田代沢	(分布稀)
カラクサイノデ	西川町本道寺山登山路	
シノブカグマ	〃	
ヤマソテツ	〃	
コケンノブ	〃	
カラクサンダ	尾花沢市半森山	(分布稀)
ヒメハイホラゴケ	大蔵村肘折	
鈴木 暁	上山市新丁 2 9	
クマツヅラ	上山市十日町	(新採集)
〃	上山小学校校庭	(新採集)
イトモ	上山市三千刈	
ミズヒキモ	上山市久保手	
アイズシモツケ	上山市三吉山	
ハルニレ	〃	
ケナシヤブデマリ	上山市葉山(永野口)	
ワニグチソウ	上山市葉山	(分布稀)
サワギク	〃	(分布稀)
シナノキ	上山市中山滝ノ沢	
ドクムギ	山形市松波	
ルリソウ	鮭川村羽根沢	
土井 敬正	山形市楽師町 2-1 4-4	
マルバダケブキ	山形市山寺所部	
コモチナデシコ	〃	
アイバソウ	〃	
ナライシダ	〃	
シモツケソウ	山形市奥山寺	
アサギリソウ	〃	(分布稀)
マツムシソウ	山形市神室山	
キクイモ	山形市深沢不動	
コゴメバオトギリ	山形市二口橋	
ケタイワンホトトギス	山形市	
ノミノツヅリ	〃	
イワガネソウ	天童市若松観音	